



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 オリジン電気株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6513 URL <https://www.origin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 妹尾 一宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 赤松 敦 TEL 048-755-9242  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	24,439	9.0	1,298	99.4	1,419	66.6	491	—
29年3月期第3四半期	22,421	△8.4	651	△52.2	852	△47.5	△1,319	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,749百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 △2,206百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	73.94	—
29年3月期第3四半期	△197.93	—

※当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	43,953	24,953	50.9
29年3月期	42,258	23,692	50.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 22,390百万円 29年3月期 21,196百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
30年3月期	—	3.50	—		
30年3月期(予想)				17.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は3円50銭となり、1株当たり年間配当金は7円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	5.4	1,600	72.0	1,700	44.1	550	—	82.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※1. 業績予想の修正につきましては、本日(平成30年2月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※2. 当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	6,699,986 株	29年3月期	6,699,986 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	66,830 株	29年3月期	35,821 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	6,651,510 株	29年3月期3Q	6,664,780 株

※1. 当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※2. 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)にかかる信託口が保有する当社株式が含まれております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は平成29年6月29日開催の第116期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株に変更)を実施しております。

なお、株式併合の影響を考慮しない場合の平成30年3月期の配当実績、配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当実績
  - 1株当たり配当金 第2四半期 3円50銭
2. 平成30年3月期の配当予想
  - 1株当たり配当金 期末 3円50銭
3. 平成30年3月期の連結業績予想
  - 1株当たり当期純利益 期末 16円54銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続き、穏やかな回復基調が継続いたしました。米国政権による経済政策運営の不確実性及び地政学的リスクの高まりから、景気の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

このような中、当第3四半期連結累計期間の売上高は244億3千9百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。

利益面におきましては、営業利益12億9千8百万円（前年同四半期比99.4%増）、経常利益14億1千9百万円（前年同四半期比66.6%増）となりました。特別損失にメカトロニクス事業において減損損失2億6千7百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億9千1百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失13億1千9百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## [エレクトロニクス事業]

エレクトロニクス事業の売上高は前年同四半期比23.7%増の70億4千4百万円（総売上高の28.8%）となりました。

液晶製造装置向けや成膜装置向けの高電圧電源については大型の設備投資需要があり伸長し、医療用・工業用・環境対応の高電圧電源についても、新規需要および更改等で堅調に推移しました。更に、スマートフォンなどの携帯端末向けの無線基地局用電源の投資について首都圏および関西・九州エリアを中心に全国的に伸長しました。

## [メカトロニクス事業]

メカトロニクス事業の売上高は前年同四半期比73.0%減の6億6千5百万円（総売上高の2.7%）となりました。

大型溶接機と真空ソルダーリングシステムは売上げたものの、拡販が進む新製品の車載ディスプレイ向け貼合せ装置は売上までには至りませんでした。

## [ケミトロニクス事業]

ケミトロニクス事業の売上高は前年同四半期比10.9%増の87億7千2百万円（総売上高の35.9%）となりました。

国内、海外ともに主力の自動車関連分野を中心に堅調に推移し、新規分野開拓も売上げに貢献しました。

## [コンポーネント事業]

コンポーネント事業の売上高は前年同四半期比25.3%増の79億5千7百万円（総売上高の32.6%）となりました。

金融機器関係は、国内は回復傾向も海外が低調に推移しました。また医療機器関係は海外案件が順調に伸びるも、国内メーカーの在庫調整などがあり前年同四半期並みとなりました。一方、事務機関係は新たな用途開拓を行い新製品に結び付けたと共に、半導体製造装置を中心とした設備関係も好調に推移、また車載部品関係も好調維持により前年同四半期を大幅に上回りました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、439億5千3百万円となり、前連結会計年度末より16億9千5百万円増加しました。これは主に現金及び預金が4億2千5百万円、電子記録債権が2億2千2百万円減少しましたが、投資有価証券が13億8千9百万円、商品及び製品が3億7千5百万円、受取手形及び売掛金が3億5千4百万円、原材料及び貯蔵品が2億3千4百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、190億円となり、前連結会計年度末より4億3千4百万円増加しました。これは主に環境対策引当金が14億9千8百万円、長期借入金7億4千8百万円、支払手形及び買掛金が4億8千3百万円、賞与引当金が2億5千6百万円減少しましたが、電子記録債務が15億2千7百万円、短期借入金15億円、流動負債のその他が3億2百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、249億5千3百万円となり、前連結会計年度末より12億6千1百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が9億2千6百万円、利益剰余金が2億5千7百万円増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の連結業績予想につきましては、当第3四半期の業績及び今後の見通しを勘案し、平成29年5月12日に発表した平成30年3月期の連結業績予想（通期）の数値を上方修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成30年2月9日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,845	7,419
受取手形及び売掛金	8,896	9,250
電子記録債権	1,387	1,164
商品及び製品	1,450	1,826
仕掛品	3,844	3,839
原材料及び貯蔵品	1,632	1,866
繰延税金資産	252	216
その他	184	182
貸倒引当金	△66	△36
流動資産合計	25,427	25,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,750	4,954
機械装置及び運搬具（純額）	969	954
土地	4,298	4,298
その他（純額）	888	815
有形固定資産合計	10,906	11,022
無形固定資産	778	655
投資その他の資産		
投資有価証券	4,601	5,991
繰延税金資産	165	6
その他	465	686
貸倒引当金	△87	△137
投資その他の資産合計	5,145	6,545
固定資産合計	16,830	18,223
資産合計	42,258	43,953

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,101	3,617
電子記録債務	2,344	3,871
短期借入金	1,800	3,300
1年内返済予定の長期借入金	1,197	1,047
未払法人税等	205	133
賞与引当金	511	254
役員賞与引当金	19	-
環境対策引当金	1,485	-
その他	1,831	2,134
流動負債合計	13,496	14,358
固定負債		
長期借入金	1,079	331
繰延税金負債	-	242
退職給付に係る負債	3,916	3,988
環境対策引当金	53	39
資産除去債務	-	29
その他	21	10
固定負債合計	5,069	4,641
負債合計	18,565	19,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,103	6,103
資本剰余金	3,454	3,454
利益剰余金	9,580	9,837
自己株式	△93	△145
株主資本合計	19,044	19,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,553	2,479
為替換算調整勘定	599	662
その他の包括利益累計額合計	2,152	3,141
非支配株主持分	2,495	2,562
純資産合計	23,692	24,953
負債純資産合計	42,258	43,953

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	22,421	24,439
売上原価	16,832	17,930
売上総利益	5,588	6,509
販売費及び一般管理費	4,937	5,210
営業利益	651	1,298
営業外収益		
受取利息	55	63
受取配当金	88	100
為替差益	61	-
持分法による投資利益	50	45
その他	91	110
営業外収益合計	346	319
営業外費用		
支払利息	27	23
為替差損	-	10
コミットメントフィー	15	42
その他	102	121
営業外費用合計	145	198
経常利益	852	1,419
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	3	106
固定資産解体費用引当金戻入益	54	-
特別利益合計	59	107
特別損失		
固定資産売却損	-	2
固定資産除却損	9	37
減損損失	-	267
製品補償費	-	94
環境対策引当金繰入額	1,538	-
特別損失合計	1,547	401
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△635	1,125
法人税、住民税及び事業税	341	366
法人税等調整額	157	34
法人税等合計	499	400
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,134	724
非支配株主に帰属する四半期純利益	184	232
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,319	491

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,134	724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	359	923
為替換算調整勘定	△1,434	98
持分法適用会社に対する持分相当額	3	2
その他の包括利益合計	△1,071	1,025
四半期包括利益	△2,206	1,749
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,944	1,480
非支配株主に係る四半期包括利益	△262	268



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。